



かっぱ寺浅草新年会

かっぱ新聞

水は命・河童は心

河童連邦共和国
事務局
〒111-0035
東京都台東区西浅草3-3-4
電話・FAX: 03-3844-0641
新聞編集部
〒373-0057
群馬県太田市本町39-7
FAX専用: 0276-22-6514

新年の御挨拶

河童連邦共和国

大統領 縄田 圭一

明けましておめでとうございませす。

令和六年の新年をさぞ「今年こそは」と云うお気持ちでお迎えになった事と存じます。

十月頃になって「今年こそは」との気持ちを持とうとしても、何となく中途半端で、本気になって今年こそはという気持ちは持てるものではありませんが、新年という昔から誰でも、今年こそはと感じる様でございます。別に普段と違っている処は無い筈なのに新年に限ってこういう気持ちを、何の不自然さも無く持てる事は本当に不思議です。良く考えますと、こういう気持ちが何の矛盾も無く持てるという事が、我々の生活に取って大切な事で、こういう機会を捉えていく事に因って段々と、私達は何らかの形で、自分達の生活を変えていくかもしれません。

実際に人間と言う者は、これ又、不思議なもので、何かの機会を捉えて、今までの生活を乗り越えた何か新しい生活に入る事に、この上もない喜びを感じるものです。

そこに進歩が有り発展があり、それが蓄積されて、原始の大昔から、進歩と発展が今日を作り上げられてきたのだらうと思われませす。この様に、何か新しい進歩と発展なりの、新しい出発点になるという意味で、新年になると私達はお互いに「おめでとうございませす」と言い合う習慣が、いつの間にか長い生活習慣に取り入れられて来たのではないでせうか。

勝手な解釈で御座いませす。今日が各位様の為に意義ある良き新年で有ります様に心から念願し新年のご挨拶と致します。



かつば新年会スナツプ

二月十日に開催された、かつば新年会のスナツプ写真です。



かつばと私

岡山かつば国 副総理 玉井俊幸

かつばといえは遠野の逸話か黄桜のテレビの宣伝で見た漫画家小島先生の夫婦で楽しそうにお酒を飲んでいる河童の姿くらいでした。

そんな私がかつばに関わる事になったのは五年前の岡山かつば国の建国準備に知人から誘われたのが始まりです。

準備中に各地のかつば村の記事に触れ、特に九州の河童村の新聞記事に河童は大陸から九州にわたる日本に上陸したとあり、未知の生物ではないのかもとの思いが強くなりました。

河童に触れるために手始めは岡山県中部の川柳の町で有名な久米南町に出掛けてたくさんのかつば像を見て、津山のごんごまつりにも出掛けました。

岡山かつば国では副総理として特に、ハイキング・ウオーキングなどを立案、高原、海、山、時にはランチと温泉と楽しんでいきます。

岡山かつば国も本年、建国五周年を迎えます。国民も増えて、四月六日の夕方には岡山城を借り切って祝賀会を開き国民とともに祝いする予定です。城主気分でお酒が飲めるので皆さん楽しみにしており現在、香西総理を中心に楽しい祝賀会になるよう準備を進めています。

このように私もすっかりかつばに関わり二年前に買物で立ち寄った百貨店で「河童サミット岡山」に来て頂いた河童造形作家に再会、少し卑猥なかつば一家を買いました。今は寝室の棚に岡山サミットでお土産に配布したかつば、浦安サミットで頂いた記念の手ぬぐいなどと一緒に飾っています。

これからも元気で長生きして河童サミットやかつば伝説の地河童記念館、そして黄桜酒造の河童ギャラリーにも行き、我が家の河童家族を増やしたいと考えています。もちろん、今年も開催予定の駒ヶ根サミットに参加予定なので駒ヶ根の河童も仲間入りです。

かつばと私

定山溪温泉かつば村 村長 石川康夫

私が河童連邦共和国の国民になったきっかけは、この北海道定山溪で配管業を営む義理の父森田貞雄が「定山溪温泉かつば村」の村長で定山溪で河童サミットをやった時(第七回平成六年・第十八回平成十七年・第二十四回平成二十三年は震災のため時期をずらして全国河童交流会として開催)に参加し河童連邦共和国の幹部の方々とも知り合いになりました。サミットの回数もさつていきまじら、かつばに限らず本州の方々は北海道にきたがるようです。

定山溪は河童にまつわる材料は、満載で豊平川の上流では昔からいわれてい、かつばが湧き出てあり、二見公園にはかつば大王が鎮座してあります。昔は河童祭りが一週間開催され、かつば音頭が町中に流れ、かつば一色になりました。

森田貞雄が他界して、そのあと新潟魚沼サミット(第三十回平成二十九年)のとき、村長に就任しました。

佐渡サミット、台湾サミット、コロンビアがあつて中止になり、岡山サミット、浦安サミット、その土地、その土地で色々な伝説があつたり、かつば像があつたり、四国の四万十流の河童博物館は目を見張るものがありました。

かつばにまつわる話は日本全国にたくさんありますが、その姿、形をみたものは誰もいませんが、大好物は、きゅうりと日本酒だそうですね。何のしからみもない酒好きが全国から集まっ、かつばの話をする。大変素晴らしいことだと思えます。

2つのカッパが映える

「こまかっぱ」の聖

駒ヶ根天竜かっぱ村長 坂井昌平

第35回河童サミットが6月9日(日)駒ヶ根市で開催されます。連邦共和国の皆さんには平成22年第23回河童サミットが上諏訪温泉で開催されて以来14年振りに当市を訪れていただくこととなります。

駒ヶ根市は西に中央アルプス、東に南アルプスを臨み、中央部を天下のあばれ天竜と云われた天竜川が流れる風光明媚な観光都市です。この天竜川は諏訪湖を水源とし延長213km太平洋へと注いでいます。天竜川と、その支流には河童にまつわる伝説が多数あり語り伝えられてきました。また、当地の中村家には、助けた河童から伝授された「痛風の妙薬・加減湯」として昭和初期まで全国販売し、たいへん繁盛したと言われていると聞いています。

このように地元で伝わる河童伝説を末永く伝えるために、平成5年に「おもしろかっぱ館」が建設され30年が経過、駒ヶ根市の另キャラクタ―「こまかっぱ」誕生10年を迎えた節目の年でもあります。昨年12月に急逝された小島利昭前村長のご功績を偲ぶ会として、河童サミット駒ヶ根を企画しています。

私自身、天竜川の近くで生まれ育ち、子供の頃から生活の中に天竜川がありました。昭和30年代の天竜川は豊かなきれいな川で、アユ・ウナギ・コイ・カジカ等々たくさん採れたもので、夏休みは終日川で遊び真つ黒に日焼けした天竜川の河童小僧でした。しかし昭和36年の大災害を機に、大規模な改修工事が始まり、豊かだった天竜川が変わり、河童小僧も川から遠ざかっていきました。

しかし天竜川は、この地方の水田・畑を潤す豊かな台地を守っています。母なる川は永遠です。これからも夢とロマンを求め保全に努めてまいります。

最後にサミットの締めめに全員で歌う予定の「みんなおいでよかっぱ村」の一番の歌詞を掲載し、皆様をお待ちしています。

おいらの生まれは 信州の駒ヶ根天竜かっぱ村
山の緑も咲く花も 水の流れもきれいだよ
心の皿が 渴いたら みんなおいでよかっぱ村

カッパをこよなく愛する

台湾高雄河童村 村長 野崎遊河童

私は、長野県駒ヶ根市に窯を構える陶芸家です。私が今から40年ほど前群馬県桐生市というところに住んでいました。山の奥にかっぱ神社という名ばかりの洞窟がありました。かっぱの本尊を作ってくれという依頼があり、それがきっかけでカッパを創るようになりました。桐生市には、カッパの伝説もありますが、カッパについての資料もなく、試行錯誤しながら作り始めて3年目。近くのお寺の住職がお前はこれしかないと言う。「名前は、野崎河童と遊ぶ、野崎遊河童(ゆうがどう)と名乗りなさい」それから何と数十年、日本国内のカッパに関する色々な市町村を訪ねた。新しい河童を創りながら思ったことは、カッパの好きな人は歳をとっていても心は童心なんだ、よい人ばかりなんだなど。またカッパは酒と切り離せない、私自身もお酒と縁が切れないで7才になりました。

今、現在、私はこの原稿を台湾の百貨店の中で書いています。今思うことは、私は可愛いカッパを生み出すことで、大人や子どもたちに、仲間や人をいたわることができる優しい人になってもらいたいなと思います。終わりに、私が生まれたのは、長野県の南、駒ヶ根の近くです。全国かっぱサミット駒ヶ根大会の会場でも、実演・展示させていただく機会をただけだと幸いです。また、かっぱの展示展覧の依頼があれば、どこにでも出かけます。これからも、身体が動く限りカッパを創り続けます。どうぞみなさんよろしくお願ひします。

遊びをせんとや...

林 九八

(前おもしろかっぱ館館長)

おもしろかっぱ館の横を流れる川は、私の小学生時代の川遊びの場所でした。水嵩といい、川幅といい手頃で安全。魚釣りもでき、きれいな水草が繁茂して草の中石の下泥の中に手を入れると各種の魚に指が触れます。遊び仲間と川を上下しながら時を忘れて遊びまわった記憶が蘇ります。捕った魚を家に持ち帰れば、母親がチャンと料理して、食事の一品にしてくれ、夕食時の話題の一つにもなりました。

おもしろかっぱ館より上流の大久保橋(下がり松の淵の河童伝説付近)から下流の小鍛冶橋にかけて天竜川を中心に、地形が楕円に広がり、東西、南北にかけ雄大かつのびのびとした気分になれます。小鍛冶橋の少し上流に、中沢から下間川が注ぎ込み「かつら淵の河童伝説」の地があります。東西の段丘上には、戦国時代からの城砦跡があり、城砦跡巡りのフットパスも楽しいものがあります。併せて幕末から、この近辺を漂泊した俳人井上井月(せいげつ)の句碑があちこちにあり、それを楽しみながら歩くのもよし。天竜川では、大人たちが四季折々の魚とりザムシ採りの夢中です。そんな情景がふつと浮かんできます。

遊びをせんとや生まれけむ 戯れせんとや生まれけむ

遊ぶと子供の声聞けば わが身さへこそ揺るがるれ(梁塵秘抄)

遊び心たつぷりの故小島利昭かっぱ村長のお手伝いをさえていただいた日々を懐かしく思い出します。また多くの方々のご援助をいただいた日々でもありました。この場をお借りしてお礼申し上げます。



林 九八



野崎遊河童



坂井昌平

ご挨拶

曹源寺住職

昨年四月より曹源寺二十八世の住職を任命されました「煤孫圭太(すすまごけいた)」と申します。

私は、新潟県の南魚沼郡六日町(南魚沼市)出身になります。

河童の思い出を考えてみたのですが、子供の頃川や池に入って遊んでいても大人に「河童が出るから川で遊ぶな」などと言われて注意された記憶がないので、新潟県には河童の伝説みたいなものはないのかと思っていました。しかし、調べてみると、実家の近くでは河童伝説のような話は見つかりませんでした。新潟県にはいたる所に多くの河童伝説が残っている事に驚きました。新潟県では河童を「カッパ」、「コッパ」、「スイジン」、「スジンコ」、「カワウソ」などと呼んでいるようです。河童伝説の中でも、悪さをした河童が人に捕まると許してもらい河童秘伝の薬の作り方を教えるという伝説が多く残っている様に感じました。新潟市の病院では河童に教わった妙薬を処方して出していた病院があった事に驚きました。また上越市では河童伝説を市の公式ホームページに掲載しているなど、新潟県にもいろいろな河童伝説があるのだと思いました。あらためて、新潟県の河童のことを知り伝説の場所をぜひ訪れてみたいと思いましたが、全国の河童伝説も調べてみたいと思いました。

私が、曹源寺に来たのが十年程前になります。東京に出てきて二十年経ちますが、曹源寺にくるまで浅草に「かっぱ寺」と呼ばれている寺院がある事を知りませんでした。曹源寺の河童は、悪さやいたずらをする悪い妖怪ではなく、商売繁盛・水災難除をもたらす福河童として地域の方々を始め多くの人に信仰されています。

これからも多くの人に福をもたらしたいと思っております。親しんでもらいたいと思

かっぱと私

水辺かっぱ村 高山律子



優しいかたり恐ろしかったり時には、間抜けだった。そんな河童を初めて教えてくれたのは父親です。父は福岡県に有る犬鳴村で育ちました。今はダムの下です。祖父が作った炭や椎茸、山で採れたキノコなどを背負って二人は、夜明け前の暗いうちから山を越え、町まで売りに行きました。また、日が暮れて帰れない時には祖父は、お墓に泊まるそうです。夜のお墓は賑やかで少しも寂しくないとか。

狐に化かされ道に迷った話。夕暮れ、六ヶ岳(ムササビ)の周りにポツンポツンと灯った狐火。古寺の化け物退治川で遊んでいると河童が現れて「相撲とろう、相撲とろう」と、掴み掛かって来る話。幼い頃体験したり聞いた事、父が話してくれるのがとても楽しかったです。いつしか私は妖怪が大好きになり、大人になったら妖怪探しの旅をしようと考えているように感じました。しかし、いつの間にか妖怪が潜む場所もめっきり減ってしまいました。河童も住みにくい環境に成ってしまいました。

そんな折、全国に河童の国が有ることを知り心が踊りました。河童を心から愛する方々が居る限り、安心です。私も、(のんのんばあ)になって、子供達に妖怪や河童の話を変えたいと思います。



河童が終んだ縁

水辺かっぱ村 山本順三

河童連邦共和国の草創期から国民(元上野かっぱ村民)だった舟山正克氏が逝かれて二年が過ぎた。

コロナ騒ぎもあって、一緒にできたのは左渡福浦サミットが最後となったが、その折に私の好物の佐渡の岩モズクを強く勧めたことが懐かしい。

舟山氏は若い時から指導頂いた職場の先輩だった。31年前に私を河童の世界に誘い込んだ人でもあった。私は所属する村を決めかねたまま国民になったが、直後、全く縁のなかつた千葉県銚子に転職する事になった。そこで舟山氏は「銚子には、共和国に属してないが、大内さん率いる友好団体の河童村がある」と教えて下さった。驚いた事は、新しい職場に着任すると、大内氏は非常勤役員(後にはトップに就任)であり、また森本副(後にはトップに就任)であり、また森本副大統領の学友も職員におられた。加えて銚子かっぱ村には、後に共和国の大統領になられた岡見氏もおられ、河童の絡む深い縁を痛感した次第である。なお銚子での12年間は多忙だった事もあり、遠方での共和国行事への参加は控えたが、全国の河童仲間が大勢集まった。これは、京都が新人時代に勤務し、黄桜の河童と自称し始めた思い出多い所であった。先斗町の馴染みの店に銚子の仲間を案内するためでもあった。さて私は銚子から返すに帰っているが、引き続き共和国と銚子かっぱ村の双方に属しており、各種行事に参加する時は双方の半纏を持参して使い分けている。

話は変わるが、最近、ある問題が私の頭から離れない。それは、沖縄のキジムナー等妖怪は本当に河童の仲間なのかという事である。最近、仲間であるとの扱いが主流であるが、果たしてそうか。

私は、52年前の沖縄の復帰当時、2年余り那覇で勤務し、離島を含め各地を巡る中、キジムナーの名等を耳にする事はあつたが、詳しい話や、「河童」の言葉と結び付けた話は聞けなかつた。又当時沖縄で発刊された「河童の本」では、全く別に扱っている。当時も「河童の事」とした論文もあつた。私が気になつて居るのは、西表島以外に本土のような山や川のない沖繩の一般の人の認識である。キジムナーの類が河童か否か細かく云々しても詮無いが、昔の民俗研究者の「沖繩で河童に相当するのは云々」との言い方が妥当なのかと思う。なお、狭い割に沖繩には方言が多かつたが、この事も、妖怪の名の多さに影響しているのではと勘ぐりたくもなつている。



河童博物館より



河童辻占



河童布根付



写真の説明文・映画で観たしDVDも買って泣きまくった「河童のクウと夏休み」のクウのライターです。

「ジツさん 河童ってホントにいるの？」
なんて聞かれたりするんですが、そういう時は決まつて
「音や香りや温度は見えないけど存在してるよね？河童も見えろとか見たじゃなくて存在するんじゃないかな」
みたいに答えてフワフワつとさせています(笑)
そういうたわけだから河童を心のドコカにちよこんと住まわせて楽しく生きていこうと思つております。

自分が河童にハマつてしまつたのはいつだったのか？。あらためて思い出そうとするといつ頃なのか思い出せない。
岐阜県の郡上市という自然豊かな環境で青春時代を過ごせたことも河童という異形を「有る」コトと思えた理由かもしれない。兎にも角にも自然に身体の一部になつておりました。
最初の頃はキャラクタ―としてたっぷり楽しませてもらいある時期から民俗学的になにか悲しい意味もあるのではと考えたりと興味がつきません。
たまにお客さんから

かっぱと私

水辺かっぱ村 實廣誠志

第35回 河童サミットin KOMAGANE

～ 2つのアルプスが映える「こまかっぱ」の里 ～

おもしろかっぱ館開館30年・こまかっぱ生誕10年記念

期日 令和6年6月9日(日)～10日(月)
 会場 アイパル 長野県駒ヶ根市東町4-3 ☎ 0265-81-1122
 宿泊 ホテルやまぶき 駒ヶ根市赤穂497-1497 ☎ 0265-83-3870
 会費 11,000円 (サミット参加費・宴会費)
 宿泊代 13,350円～18,850円(宿泊人数で費用は変わります。
 朝食付き。ハガキに宿泊希望人数を書いて下さい)
 原則として、現地集合・現地解散です。

サミット 17:00 駒ヶ根太鼓でお出迎え
 17:30 定期総会
 18:00 村長挨拶
 講演会「河童伝説の残る駒ヶ根の魅力」講師竹村章さん
 18:30 全国交流会 各村の紹介
 20:00 全員で「みんなおいでよかっぱ村」を踊る

観光 6月9日(日)貸切バスで見学会@ 8,000円(昼食付)

① JR茅野駅【想定列車 あずさ9号9:00-茅野11:11】

② 駒ヶ根バスターミナル

【想定バス 名古屋9:30-駒ヶ根BT12:05】

これで来れば、6/9の市内観光に参加できます。

6月10日(月) 松本城方面 @9,500円(昼食付)

【想定列車 あずさ34号松本13:45-新宿16:25】

以上の要項でサミットを行いますので、奮って御参加下さい
 参加希望の方は、ハガキかメールで4/15まで申し込んで
 ください。

6/9と6/10の観光にに参加するかどうかとも書いて下さい。

参加希望の方に詳細等を4月下旬に郵送します。

宛先 〒111-0035東京都台東区西浅草3-3-4河童連邦共和国

問合せ E-mail kappa@cure.ocn.ne.jp ☎・fax 03-3844-0641

河童連邦共和国 大統領 縄田圭一

事務局長 森本佳直

連載コラム

河童よもやまばなし

十一回 河童ときゅうりの関係

國學院大學文学部教授 飯倉 義之

はたしてきゅうりが大きいのか、はたまた河童が小さいのか。見る人に問いかけるような画材のきゅうりにまたがる河童の画幅です。作は葛飾北雅。葛飾北斎の弟子で、肉筆画などを遺している。すくなく、生没年を始めた。よくな人物だったのか、よくわかっておりません。よくわからぬといえ、この河童の姿も個性的です。まず垂れ目、河童が珍しい。人間と同じような耳が描かれていて、くちばしではなく猿やヒヒのような口角です。妙に、とんがった頭頂部で大きく開いた皿の穴。手は後ろに回しているの。さしうか、すんと反り返った胴体のフォルム。さらに頭の鉢周りと首の周りにフリルのような鱗？が描かれています。

断言はできないのですが、この河童ときゅうりは男根、男性器を暗示しているのではないでしょう。これは一見、河童ときゅうりを描いた「健全」な掛け軸と見せかけて、実は性的な意味合いを持つている「笑い絵」の類なのかもしれません。そういう目で見始めると河童の表情も、やに下がったスケベおやじみたいに見えてきます。が、これも推測に過ぎません。この画題に込められた意味を明らかにすることは実に困難でしょう。

そもそもなぜ河童の好物がきゅうりとされているのかも、民俗学も歴史学も文学も、未だに答えを見つけられていません。水神祭の季節の夏の作物だからとか、きゅうりの切り口が祇園社・八坂社の紋に似ているからだと、きゅうりの味が尻子玉に似ている(！)などの俗説はあります。決定的な証拠はありません。今回は徹頭徹尾「よくわかっておりません」でしよう。かように河童は謎だらけで、そこが河童の魅力なのだと思います。

【画像キャプション】画幅「河童と胡瓜(仮題)」葛飾北雅・作、江戸後期(文化・文政年間か)、国際日本文化研究センター所蔵



河童博物館より河童怒河原



かっぱと私

江戸川かっぱ村 村長 大橋優希

かっぱと私の出会いは、ある日突然やってきました。陶芸仲間の当時利根川かっぱ村の相談役の西井秋生さんから、私、こういう者で……”と、河童連邦共和国の名刺を頂きました。なんとユニーク！こりや、面白い！そして見えない河童に推されるように、西井さんの陶芸展で、初代事務局長の板久河童さんに出会い、お二人の語る熱い！熱い！河童愛にドボーンとかっぱ沼にはまってしまいました。

そして、あれよあれよと1993年(平成5年)11月28日デイズニールゾートを望む都内唯一の区営ホテル “シーサイド江戸川”で、多くの先輩村の皆様にきて頂き、めでたく“発村式!”あれからナント33年。

ですが……ずうーと弱小村のまま。まるでテレビ番組の“つぶれそうでつぶれない店”のようです。

途中、江戸川の生みの親 西井秋生さんは利根川かっぱ村の有志の皆様ご臨席のもと1億円と印刷された“特大のしいか”でトレード。円満に江戸川かっぱ村の村民に川替えとなりました。

弱小、マイペースですが江戸川かっぱ村をこれからもよろしくお願い致します



河童百話 (各地の伝承シリーズ)

全国各地に伝わる河童の伝承や昔話、民話を集めてみました。同じようなテーマの話が、それぞれの地域の個性を反映して、微妙に異なっています。河童には詳しい皆さまでするので、お耳汚しかもしれません、若干の解説をしています。

河童大学 佐々木 篤



ひょうすんぼ

やの55

宮崎県日向地方

むかし、むかし。にせどん（下男）が、川に馬入りに行っていました。すると、川のなかから、ひょうすんぼが出てきて、馬の足にかみつきました。馬はびっくりして、ぴんこ、ぴんこ、跳ねながら、家にとんで帰りました。

ひったまげたにせどんは、あわてて家に帰って見ると、馬の足にひょうすんぼが食いついたまま、気をうしなっていました。にせどんは、なわでしばって、馬屋の柱にしばりつけました。

ひょうすんぼは、頭の皿の水がひっくり返って、すっかり元気がありません。ところが、家のおかみさんが、米のとぎ汁を持ってきて、馬に飲ませようとした。ところが、柱にひょうすんぼがしばりつけられているのを見ると、「なんとというさまじや」と言いながら、とぎ汁をさぶんとかぶせました。すると、ひょうすんぼは、きゆうに力が出て、なわを切って、逃げ出してしまいました。「あら、しもた」おかみさんは、そういつて残念がりました。

(未来社版『日本の民話』より)

解説…『河童駒引き』類似の民話ですが、シンプルすぎて、何が言いたいのかわからない。民話としてのテーマが希薄な話です。

河童大学 佐々木 篤

大統領府からのご案内

かっぱ寺新年会

恒例のかっぱ寺新年会は、令和六年二月十日（土）、浅草曹源寺にて開催され、参加国民47名にて、盛大に催行されました。

河童堂でのお経は住職が他用で不在でしたので、縄田大統領が先頭になって「般若心経」を読経されました。

そして堂内の皆さんの読経の輪となつて響き渡りました。かっぱ村の方々の「般若心経」は素晴らしかったです。

岡山かっぱ国創五周年記念まつり

リニューアルオープンした岡山城は日本のお城ランキング五位に選ばれました。その岡山城に於いて五周年の記念イベントを開催しますので、ご参加くださるようお願い申し上げます。

時 令和六年四月六日（土）

午後六時開宴
会費 五千円

問合せ・申し込み

坪江義昭

〇九〇 三九六〇 八六七〇

新規国民

- ・小林 隆義 (浅草かっぱ村)
- ・伊藤 正人 (駒ヶ根かっぱ村)
- ・宮澤 賢司 (同右)
- ・松崎 剛也 (同右)
- ・飯島 美由紀 (おいてけ堀)

編集後記

かっぱ新聞の編集をしていると、いつもの悩みは、原稿の少なさです。

ところが今号は、事務局の協力のおかげで、十分な原稿が集まりました。それはうれしいことなのですが、新たな悩みが。

今回、原稿を送っていたいただいた方の中の、数名の方の原稿を載せることができませんでした。もうしわけない気持ちでいっぱいですが、次号には必ず掲載いたしますので、ご容赦をお願いいたします。編集責任人 佐々木 篤

かっぱ新聞第二百三十七号
発行 令和六年三月一日

新聞発行人 森本 佳直
編集担当 佐々木 篤

河童連邦共和国のホームページは、河童連邦共和国で検索して下さい。